

# 送迎車両への安全装置導入義務 と導入支援補助金について

仙台市障害者支援課 施設支援係

仙台市障害者支援課施設支援係より、障害児通所支援における送迎車両への安全装置導入義務と導入支援補助金について、ご説明いたします。

令和4年9月に静岡県認定こども園において、送迎用バスに園児が置き去りにされ、亡くなるという痛ましい事案が起きたことを受け、

国において幼児等の所在確認と安全装置の装備の義務付けを含む「子どものバス送迎・安全徹底プラン」が別紙1のとおり令和4年10月にとりまとめられました。

これを受けて、障害児通所支援に係る運営等に関する国の基準省令について、バス送迎に当たっての安全管理の徹底に係る規定を加える改正が行われました。

その概要についてご説明いたします。

# 目 次

---

1. 基準省令の改正内容
2. 留意事項
3. 装備すべき安全装置
4. 安全装置導入支援補助金

説明する内容ですが、

- 1 基準省令の改正内容
- 2 留意事項
- 3 装備すべき安全装置
- 4 安全装置導入支援補助金

こちらの目次に沿って、順にご説明いたします。

# 1. 基準省令の改正内容

---

## 【義務付けの内容】

- ①通所等のために自動車を運行する場合、乗降車の際に、  
点呼等の方法で児童の所在を確認すること
- ②通所用の自動車を運行する場合は、自動車に安全装置を  
装備し、装置を用いて、降車時の①の所在確認を行うこと

3

まず、基準省令の改正内容について説明いたします。

今回の改正により義務付けられた事項は2つです。

1つめは、児童の通所や事業所外活動等のために自動車を運行する場合、児童の自動車へ乗降車の際に、

点呼等の方法により児童の所在を確認すること、

2つめは、通所用の自動車を運行する場合は、当該自動車にブザーその他の車内の児童の見落としを防止する安全装置を装備し、

当該装置を用いて、降車時の①の所在確認を行うことです。

続いて、これらの義務付け対象となる施設について、説明いたします。

## 1. 基準省令の改正内容

---

### 【義務付け対象となる施設】

- ・ 児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む）
- ・ 放課後等デイサービス事業所

4

義務付け対象となる施設は、児童発達支援センターを含む、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所となっております。  
いわゆる障害児通所施設であり、訪問型のサービスや入所施設は対象には含まれておりません。  
続いて、義務付けの施行期日についてです。

# 1. 基準省令の改正内容

---

## 【施行期日】

### ・ 令和5年4月1日より施行

※②の安全装置の装備については経過措置として、装置を備えることが困難な場合、令和6年3月31日まで代替的な措置を講ずることで差し支えないこととする

5

これらの義務付けはすでに令和5年4月1日より施行されています。  
ただし、②の安全装置の装備については、安全装置の一時的な供給不足等が考えられることから、装置を備えることが困難な場合は、令和6年3月31日までの間、  
車内の児童の所在の見落としを防止するための代替的な措置を講ずることで差し支えないこととされています。  
なお、経過措置期間内であったとしても、安全装置の装備がなされるまでの間、バス等による送迎における安全管理を徹底するとともに、  
例えば、運転席に確認を促すチェックシートを備え付けるとともに車体後方に児童の所在確認を行ったことを記録する書面を備えるなど、  
児童が降車した後に運転手が車内の確認を怠ることがないようにするための所要の代替措置を講じてください。

次に、2の留意事項について、説明いたします。

## 2. 留意事項

### 【所在確認】

送迎用車両の運行に限らず、事業所外活動など児童の移動のために自動車を運行するすべての場合が対象

※既にある事業所のマニュアルに加え、添付の「こどものバス送迎・安全徹底マニュアル」をご活用ください

6

まず、所在確認についての留意事項です。  
所在確認は送迎用車両の運行に限らず、事業所外活動のほか、児童の移動のために自動車を運行するすべての場合が対象となります。  
事業所の皆さまにおかれましては、既に安全対策等のマニュアルなどで送迎の際の決まり事などを定めていらっしゃると思いますが、  
国が令和4年10月に発出した別紙2の「こどものバス送迎・安全徹底マニュアル」をご活用いただき、児童の置き去りが生じないよう改めて徹底をお願いいたします。  
続いて、安全装置の義務付け対象となる自動車についての留意事項です。

## 2. 留意事項

### 【安全装置の義務付け対象となる自動車】

- ・ 通所用のうち、座席(※1)が2列以下のものを除く全ての自動車
- ・ 3列以上でも「その他利用の態様を勘案し、これと同程度に児童の見落としのおそれが少ないと認められるもの(※2)」は除外

(※1)「座席」には児童が車椅子に乗ったまま乗車するためのスペースも含む

(※2) 例えば、児童が3列目以降を確実に使用できないように、確実に通過できない鍵付きの柵を車体に固着させ、2列目と3列目を隔絶させるなど

7

安全装置の義務付け対象となる自動車は、スライドにある通り、通所を目的とした自動車のうち、

座席が2列以下の自動車を除くすべての自動車、つまり座席が3列以上の自動車が、原則として安全装置の義務付けの対象となります。

なお、この場合の座席とは、車いすを使用する児童が当該車椅子に乗ったまま乗車するためのスペースを含みます。

また、座席が3列以上であっても、「その他利用の態様を勘案してこれと同程度に児童の見落としのおそれが少ないと認められるもの」については、義務付けから除外されるとあります。

この「その他利用の態様を勘案してこれと同程度に児童の見落としのおそれが少ないと認められるもの」について、国の例示では、

座席が3列以上あるものの、児童が確実に3列目以降を使用できないように児童が確実に通過できない鍵付きの柵を車体に固着させ、

2列目と3列目以降を隔絶することなどが考えられるとありますが、安全装置が義務付けられる経緯及び趣旨に鑑み、その判断は十分慎重に行う必要があります。

### 3. 装備すべき安全装置

---

- ・国土交通省公表の「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」に適合するものであること

※適合する装置については、子ども家庭庁HPにリストが公表されています

(子ども家庭庁HP：送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のリストについて)

<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/list/>

8

次に、装備すべき安全装置について、説明いたします。

「ブザーその他の車内の児童の見落としを防止する装置」は、国土交通省が令和4年12月20日に策定・公表した

別紙3の「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」に適合するものであることが求められます。

なお、本ガイドラインに適合する装置については、内閣府HPにおいて、内閣府と国土交通省が連携し作成したリストが公表されており、当該リストを参考に選定することが可能です。

リストは随時更新されとのことですので、各自にて随時ご確認ください。  
続いて安全装置の導入支援補助金について説明いたします。



## 4. 安全装置導入支援補助金①

---

### 【補助対象】

- ・国のガイドラインに適合する装置であること
- ・令和4年9月5日以降に導入していること

### 【補助単価】

- ・1台あたり**17.5万円**まで

※導入に係る経費が対象であり、代車費用や次年度以降のリース費用などは対象外となります。

9

各事業所につきましては、すでに所要額調査にご回答いただいているところですが、安全装置の導入については国の補助金を充てることができます。

補助対象については、先ほどのスライドでもお示しした

- ・国のガイドラインに適合する装置であること
- ・令和4年9月5日以降に導入していること

となっており、補助単価は1台当たり17.5万円までとなります。

ただし、あくまで導入に係る経費が対象であり、装置を設置する間の代車費用や、リース契約している車両の次年度分以降のリース費用については対象外となりますので、ご注意ください。

## 4. 安全装置導入支援補助金②

### 【今後のスケジュール（予定）】

令和5年9月中旬	市から国へ交付申請
令和5年9月末以降	国から市へ交付決定
〃	事業所からの申請受付開始

※支払時期については申請受付開始時にご案内いたします

10

続いて、補助金の今後のスケジュールについて、令和5年8月時点での予定となりますがご説明いたします。

令和5年度分の補助金については、8月17日に国から交付要綱が示され、9月中旬までに市から国へ申請するよう案内がありました。

その後国から市へ交付決定となるため、事業所の皆様の申請受付開始はそれ以降となる見込みです。

国から交付決定され次第、メールにて周知したいと考えておりますので、今しばらくお待ちください。

また、補助金の支払時期については、申請受付開始時にご案内させていただく予定です。

国からはQAにて、申請前に取付が完了していても補助対象となる旨示されておりますので、各事業所の皆様におかれましては、出来るだけ早い時期の導入検討をお願いいたします。

私からの説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。